



産官学連携

企業・地域・自治体が抱える問題解決に取り組む

社会共創プログラム

活動実例紹介



“なりたい自分”を発見する。

R 流通科学大学



学生が企業・自治体と協働し 課題解決に取り組みます

社会共創とは、学生自身が調査し仲間と協力しながらマーケティングの知識を生かし、企業・地域・自治体が抱える課題解決に取り組んでいくプログラムです。

学生ならではの視点で企画・提案し、問題を解決するとともに
学生が目指す業界で求める幅広いスキルを身につけます。



企業・自治体側と学生側のメリット

企業・自治体側のメリット

1

学生視点(若い感性)
のアイデアを得られる

2

企業・商品の
PR

学生側のメリット

1

協調性
(話し合う)

2

発想力
(考える)

3

表現力
(伝える)



が培われる

取り組むことができる分野

商品開発



イベント



地域活性



マーケティング調査



観光





実践を通して学ぶ 3学部7学科で編成

商学部



マーケティング学科

消費者とのつながりを考え抜く

生産者が市場を通じて、モノやサービスの特性を消費者に伝える仕組みを学びます。消費者のニーズをつかみ、モノを売るには何が必要なのか、効率的な物流システムはどうあるべきかなど最新の経済動向を探りながら研究します。

経営学科

優れた企業組織の論理を学ぶ

経済活動の中で重要な企業の活動について学びます。企業の経営戦略やマネジメントを体系的にとらえることで、未来のビジネスリーダーを育てます。起業を目指す人、企業の一員として活躍したい人に適しています。

経済学部



経済学科

広い視野でリアルな社会の動きを学ぶ

世界と日本、公と民など、複眼的な視点で経済をとらえます。経済学の基本的な考え方や知識を学びながら、具体的に政治や社会の動きを見据え、そしてグローバルな視点から日本の経済がどのように変化していくのかを自分で考えることができる人材を育成します。

経済情報学科

ITを駆使して経済を読み解く

「経済」と「情報」。2つのキーワードを結びつけ、経済全体を見渡す力が身につく学科です。コンピュータのスキルを学び、情報を読み解き活用する力を身につけることで、経済を予測し豊かな未来を築く人材を育てます。

人間社会学部



心理社会学科

人間社会のさまざまな現象を理解する

心理学・社会学を中心に人と社会について幅広く学びます。社会のニーズや生活スタイル、社会を取り巻く多様な課題、人の心の働きやコミュニケーションの在り方など人間社会に起きるさまざまな現象について学びます。

観光学科

誰もが笑顔になれるホスピタリティを学ぶ

旅行会社、交通機関、ホテル、ブライダルなどのビジネスモデルやサービスのマネジメントについて知識を深め、実務能力を磨きます。高いホスピタリティを発揮できる人材や、観光地マネジメントによる地域活性化に貢献できる人材を育成します。

人間健康学科

スポーツと社会の関わりを学ぶ

スポーツと社会の関係性について多角的に学びます。身体の仕組みや、スポーツの重要性、心身の健康を維持するための知識を学び、人々が健康であるためにできることは何かを考え、社会に発信する方法を探求します。

連携までの流れ

取り組み開始時期：4月または9月

問題提起

企業様が抱える問題や課題についてフォームよりご入力ください



調査

連携するゼミの学生が課題解決に向けて打ち合わせや調査を行います



提案

学生が考えた解決案を提案します



流通科学大学の社会共創活動

企業や地域・自治体が抱える課題の解決に、マーケティングの知識を生かして学生が取り組んでいくプログラムです。

調査・企画・提案はもちろん、商品化・実用化まで学生主導で実施。

学ぶことの価値に気付くと同時に現場で求められる『問題解決力』を身につけていきます。

「物流業界における課題」改善提案

指導教員
田中 康仁 教授、李 志明 准教授

【連携先】コイズミ物流株式会社



取り組んだ課題

在庫管理や輸配送管理を行っている物流センターと、夢洲コンテナターミナルを見学し、物流業界の実情に触れ、
 ・新規事業創出
 ・荷役作業の効率化
 ・倉庫スペースの有効活用
 ・物流業界の労働力不足改善策
 ・倉庫内における労働環境の改善
 の5つのテーマに取り組みました。

活動結果・成果

具体的な数字やデータ、事例などを駆使して提案を行い、企業からは「自分たちにはない発想だった」「物流業界における2024年問題につながる提案もあった」と肯定的な意見をいただきました。社員との意見交換も行われ、学生たちの“物流業界”へのイメージも大きく変わったようです。

人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ

指導教員
長坂 泰之 教授、山川 拓也 准教授

【連携先】一般社団法人社会人基礎力協議会



取り組んだ課題

経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」の養成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長を遂げた学生の多様な実例を審査、表彰し、その実例の周知を目的に実施される「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」に本学から長坂ゼミと山川ゼミがチャレンジしました。

活動結果・成果

「前に踏み出す力」「考え方力」「チームで働く力」の3つの視点から活動を振り返り、成長の度合いを可視化することで今後につなげるという貴重なプロセスを経験することができました。山川ゼミが地区予選大会で最優秀賞を受賞し、全国決勝大会に進出。全国1位となる「社会人基礎力大賞」を受賞しました。
 ・長坂ゼミ 発表テーマ
 「衰退した商店街での飲食店経営および津波被災地での夏祭り経営からの得難い学び」
 ・山川ゼミ 発表テーマ
 「社会人基礎力の育成・強化を意図した「3つの実学的な経験学習」への取り組み」

新たな特産品「猪名川ワイン」をつくる

指導教員
西村 典芳 教授

【連携先】兵庫県猪名川町



取り組んだ課題

兵庫県猪名川町と包括連携協定における“観光分野”的施策として実施。学生たちは、2年生の後期から神戸ワイン認知拡大をテーマに取り組んできた経験を活かし、同町内でキングデラウエアを栽培している農家にご協力いただき、試験的に小ロットでのワイン用ブドウづくりに取り組みました。

活動結果・成果

月1回のペースで農家を訪れ、苗木の植樹にはじまり、栽培中のぶどうの除葉、誘引、草刈り、収穫作業を体験しました。また、ワインの搾りかすを活用した「ペットフード」と猪名川の特産である猪肉を使った「ワインしゃぶしゃぶ」というアイデアを提案し、活発な議論が行われました。

兵庫県警察神戸西警察署連携計画:○×クイズによる交通安全啓蒙活動

指導教員
関陽 准教授

【連携先】兵庫県警察神戸西警察署



取り組んだ課題

神戸西警察署交通第1課と連携して地域の交通安全の向上につながる企画を検討し、ホームページ形式の「小学生向け交通安全○×クイズ」を作成。また、神戸市西区の小学校に出向き、自分たちが制作したクイズを用いて、交通安全啓蒙のための授業を実施しました。

活動結果・成果

活動を通じた地域社会への貢献が高く評価され、神戸西警察署から感謝状が授与されました。学生たちは「チャレンジ精神」「チームで目的を達成する力」「コミュニケーション力」「表現力」を養うことができました。

カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成

・指導教員
長坂 泰之 教授



取り組んだ課題

神戸市兵庫区平野地区の空き店舗を改修し、カフェ空間として整備されているカフェ空間「KIKKAKE PLACE（代表:光山和弥様）」を活用し、地域に貢献できる店を出店するプロジェクトです。ゼミ生は3チームに分かれ、クレープ、ワッフル、ベトナム料理の3メニューを用意し、カフェ経営にチャレンジしました。

【連携先】株式会社スクリーフ



活動結果・成果

出店計画、周辺調査・分析、メニュー考案、試作、仕込み、販売までを学生自らが行いました。売り上げ目標達成のため一丸となって積極的に行動する「実行力」を、また、企画に多くのアドバイスを反映させ、店舗経営では臨機応変に対応する「柔軟性」を身に付けることができました。

神戸から陸前高田に祭りがやってきた～こども夏祭り～

・指導教員
長坂 泰之 教授

【連携先】陸前高田ほんまる株式会社 陸前高田商工会



取り組んだ課題

2022年度から東日本大震災の津波被災地・陸前高田市の“まちなか”的活性化に取り組んでいます。今年度は親子連れや子供たちをターゲットにこども夏祭りを開催しました。夏祭りに来たついでに、まちなかのお店にも立ち寄っていただけるようクーポンチラシを用意し、回遊性の向上にも取り組みました。

活動結果・成果

学生自らが夏祭りの計画から出店まですべてを主体的に行いました。企画時には、地元の方々の意見を積極的に傾聴し、子供たちの満足度を最重要項目とし、企画内容をブラッシュアップ。夏祭りの開催を通じて「考え方」「前に踏み出す力」を身に付けることができました。

留学生が共同開発した新メニューを販売

・指導教員
後藤 こず恵 准教授

【連携先】有限会社辻野商店 やき鳥のんちゃん



取り組んだ課題

学生たちが新メニュー提案のためのプレゼンテーションを実施しました。「Enjoy!! NADA SAKE KANPAI FES.」にて、コラボ商品を販売。何度も試作・改良を重ね、同店のメニューであるなんこつの唐揚げにかける“ベトナム風たれ”を考案しました。

活動結果・成果

何種類か試作品を作った結果、ベトナム料理でよく使われる“ニヨクマム（ベトナムの魚醤）ソース”と“スイートチリソース”に決定。イベントにて販売し、結果、目標の50個を超え、さらに追加準備した分も含めて64個が完売しました。

卒業生の会社と連携し新商品を開発

・指導教員
後藤 こず恵 准教授

【連携先】シンコー食産株式会社



取り組んだ課題

菓子製造販売等を行っているシンコー食産株式会社との新商品開発に取り組みました。グループごとにテーマやコンセプトを考え、それが新しい商品を考案。学園祭で試食会＆アンケート調査を実施し、販売が決定した2商品の販売戦略とパッケージについて検討しました。



活動結果・成果

販売された「きやらふれ(左)」「サクッとパスタ(バター醤油味)(右)」幕張メッセで開催された【スーパー・マーケット・トレードショー2024】にて新商品2品の紹介・試食を行いました。結果、3日間で用意した試食2000個はすべてなくなり、参加したゼミ生たちにとって大きな励みになりました。

サンテレビマスコットキャラクター新商品開発

・指導教員
岡田 恵実 講師

【連携先】株式会社サンテレビジョン



取り組んだ課題

「おっ!サン」というマスコットキャラクターを活用した若年層向けの新商品開発に取り組みました。サンテレビ本社にてフィールドワークをした後、アイデアをまとめ、最後は最終的に提案する自分の商品アイデアを作成し、サンテレビ本社にて企画提案を行いました。

活動結果・成果

すべての発表を聞き終えたサンテレビの方からは「絞るのを迷うくらい良いアイデアばかりだった。せっかくなら、流科大生とだからこそこの商品になった、というようなものにしたい」と意見をいただきました。今後は、サンテレビ内の会議でゼミ生たちの企画を審議し、商品化される企画が決定する予定です。

マスターズ甲子園の大会運営・SNS運用

・指導教員
青山 将己 講師

【連携先】マスターズ甲子園大会事務局



取り組んだ課題

全国の高校野球OB・OGが出身校別にチームを組んで出場する『マスターズ甲子園』の運営委員として大会の企画・運営に携わりました。また、大会公式Xのアカウントを受託し、プロモーション活動にも取り組み、インフルエンス効果の最大化に向けた戦略を検討しました。

活動結果・成果

大会当日は選手の誘導やグッズ販売、開・閉会式の運営などを担当。スポーツイベント運営の現場を肌で感じました。また、スポーツイベントにおけるメディアマーケティングの重要性や、公式SNSを運用することに対する責任、やりがいを強く感じた様子でした。

豊中市主催「マルチスポーツ体験教室」で学生が講師に

・指導教員
伊藤 淳 准教授

【連携先】大阪府豊中市



取り組んだ課題

スポーツの早期専門化によってオーバーユースによる怪我、バーンアウトなどが課題となっています。そこで、学童期に様々なスポーツを体験する機会を創出し、スポーツの楽しさを伝えることで、運動部活動やスポーツ実施率の向上につなげることを目的として取り組みました。

活動結果・成果

学生たちは、大阪府豊中市主催の「マルチスポーツ体験教室」に講師として参加。この教室では小学生を対象に4種目(ダンス、サッカー、ふうせんバレー、バスケットボール)を開催しました。1日目はダンスを実施し、小学生たちは終始笑顔でダンスを楽しんでいました。

ラグビーチーム「レッドハリケーンズ大阪」試合会場で体力測定イベント

・指導教員
関和俊 教授、山本 隼年 准教授

【連携先】レッドハリケーンズ大阪



取り組んだ課題

本学とレッドハリケーンズ大阪は、教育・スポーツ振興に関する連携協定を締結しています。今回は「プロラグビー選手 vs. あなた」という企画で、プロラグビー選手との体力の比較を行い、来場者が選手の体力を身近に感じたり、自身の体力や健康について考える機会にしてもらおうことを目的として取り組みました。

活動結果・成果

学生自らが、選手の握力や垂直跳びなどの体力測定を行い、測定データをまとめ、その後、試合当日の来場者に対して体力測定を実施しました。子どもから大人までみな楽しそうに挑戦する姿が見られ、それぞれの測定を通して改めて自分の体力を、知り、考える、良い機会となりました。

バレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」の課題解決に取り組む!

・指導教員
山口 志郎 教授

【連携先】ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸



取り組んだ課題

女子プロバレーボールチーム“ヴィクトリーナ姫路”より発表された事業課題に基づき、スポーツビジネスコンテストが行われました。山口ゼミでは「集客」と「プロモーション戦略」について提案。担当者の助言を基に、実践的な企画を立案し、スポーツビジネスの真髄を学びました。

活動結果・成果

企画プレゼン大会で受けた指摘やアドバイスを整理、集客チームはバレーボールを使ったストラックアウトやクイズなどのイベント企画を実施しました。プロモーションチームはLINEの「ショップカード」を使用したLINE登録者増加施策を企画・実践しました。

プロバスケットボールチーム「神戸ストークス」の集客促進プロジェクト

・指導教員
金 承珠 准教授

【連携先】株式会社神戸ストークス



取り組んだ課題

男子プロバスケットボールチーム「神戸ストークス」が抱える『集客促進』の課題に向き合い、ゼミで議論を重ね、学園祭で模擬店を出店しました。また、ホームゲームでは学生が運営補助を体験し、ハーフタイムでは自分たちが考えた企画を来場者の方々と一緒に楽しみました。

活動結果・成果

学園祭では公式LINEアカウントの登録者を増やすため、PRを行いました。情報発信、顧客管理、データ分析など、今後の集客およびマーケティングに活用していきます。また、学生がホームゲームでこれまでの活動について報告し、取り組みへの感謝の言葉を述べました。

ラグビーチーム「レッドハリケーンズ大阪」ホームゲームで企画実践

・指導教員
山口 志郎 教授、青山 将己 講師

【連携先】レッドハリケーンズ大阪



取り組んだ課題

連携協定を締結しているラグビーチームに対し、集客増のための企画提案・実践に取り組みました。チームのプロモーション兼広報の方を大学にお招きし、ホームゲームで実施する「ラグビーアクティビティ」の改善と新企画について、プレゼンテーションをしました。

活動結果・成果

NTTドコモジャパンラグビーリーグワンDivision2の最多入場者数(8,586名)を更新しました。参加した学生たちは責任感を持って運営を行うとともに、観客・ファンの方々との交流を通じて、多くの学びと現場経験を得ることができました。

須磨ユニバーサルビーチ活性化プロジェクト

・指導教員
青山 将己 講師

【連携先】NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト



取り組んだ課題

同NPO法人と青山ゼミ(スポーツプロモーション研究室)はアカデミックパートナーを締結し、協働プロジェクトとして、須磨海水浴場で展開されているユニバーサルビーチの活動に参画しました。活動は参加者調査や須磨海岸周辺の環境調査等、エビデンスの蓄積を図ることを目的としています。



活動結果・成果

学生が実際に入水体験をし、入水時にどのような声かけが適切か、どうすればより車イスの方に楽しんでいただけるか、意見交換をしました。2月には連携プロジェクトを実施するピンクマーリングクラブ(沖縄県・恩納村)でフィールドワークを実施し、次年度の新たなプロジェクト始動に期待を膨らませていました。

小野市の観光資源を生かした“ウエディング”による町おこし企画

・指導教員
道前 美佐緒 准教授

【連携先】兵庫県小野市



取り組んだ課題

本学は兵庫県小野市と観光振興に関する連携協定を締結し、道前ゼミは小野市の観光資源を生かしたウエディングによる地域活性化に取り組みました。学生たちは、小野市役所にて実施された令和5年度小野市研究発表会にて、「町おこし企画「おの恋ウエディング」」についての発表を行いました。

活動結果・成果

小野の四季を生かしたテーマウエディングや小野市の特産物を生かした婚礼商品の開発などにも触れ、「日常の小野市」に人が集う環境をつくることの重要性について発表。これから社会に出て仕事をしていくうえで、必要な視点や大事にすべきことを身をもって学ぶことができた貴重な経験となりました。

第14回関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト

・指導教員
山川 拓也 准教授

【連携先】一般社団法人日本旅行業協会(JATA)関西支部



取り組んだ課題

「関西国際空港発着の国際線航空便を利用して訪問できる国や地域」への「若者らしい斬新な発想かつ実効性のある旅行企画」を募集するコンテストに山川ゼミが参加しました。メンターとしてマッチングされた旅行会社の助言を受けながら細部まで検討を重ね、海外旅行企画を作り上げました。

活動結果・成果

ゼミでの日頃の学びを実践する貴重な場となると同時に、実際に旅行会社の方と協働して価値を創造することの苦労や喜びを学ぶことができ、旅行業界の魅力を肌で感じることができました。
(準グランプリ)
・フィンランドチーム×株式会社阪急交通社
企画名:「全国のサウナ大集合!「サ道」を極めて心も体も整い隊in FINLAND」
(優秀賞)
・ハワイチーム×株式会社読売旅行
企画名:「アロハブックを持って旅に出よう!
10歳チャレンジ旅」

洲本市×流通科学大学 域学連携事業

・指導教員
辻本 乃理子 准教授

【連携先】NPO法人『鮎屋の滝ふれあいの郷』



取り組んだ課題

洲本市域学連携事業で最優秀賞を受賞したチームが、鮎屋地区の竹を活用した「竹灯籠ワークショップ」と「食べる竹炭の加工」の実現性について、実証実験を行いました。竹のカット、食器とお箸の製作、バーベキュー、流しそうめん、竹灯籠作りなどの活動を通じて、実現可能性を確認しました。

活動結果・成果

実際に体験し、提案したイベントが楽しめることを実感。NPO法人『鮎屋の滝ふれあいの郷』の方々と協力し、自然を活かした取り組みに前向きな意見が寄せられました。地域の竹を活用し、観光資源としての可能性を探るとともに、地域住民とのコミュニケーションを深める機会となりました。

フジドリームエアラインズ(FDA)知名度向上

・指導教員
岡田 恵実 講師

【連携先】株式会社フジドリームエアラインズ



取り組んだ課題

フジドリームエアラインズ(FDA)の知名度向上および神戸空港発着を中心とした便の利用者増につながる企画テーマを提案。FDAのPR担当者より提案に対するフィードバックがあり、実現性、具体性について説明いただくことで、学生はPRの方向性について検討するきっかけとなりました。

活動結果・成果

神戸空港、高知龍馬空港、信州まつもと空港にて、PR活動を行いました。また、それぞれの地域の魅力についても調査し、学園祭で「就航地の魅力発信」として高知や松本のおすすめスポットを紹介しました。神戸空港開港18周年イベントでは一般の方々に向けたプレゼンテーションを実施しました。

家島活性化プロジェクト

・指導教員
辻本 乃理子 准教授

【連携先】いえしまコンシェルジュ



取り組んだ課題

「いえしま案内人」の中西和也氏から家島について説明を受け島内を散策、家島神社や清水公園などを訪れました。フィールドワーク後、家島を訪れて感じた『良さ』と『課題』についてディスカッションを行いました。地域活性化に繋がる魅力発見と課題解決に取り組みました。

活動結果・成果

現地を観察したことで、ゴミ箱や案内看板の不足などの課題発見に繋がりました。また、家島の美しい景色と親しみやすい島民など、地域の魅力を再発見することが出来ました。家島をより快適な場所にする目的に「空き家改修」と「クリーン作戦」として清掃活動を行う予定です。

阪急うめだ本店での『たまねぎランタン』ワークショップ開催

・活動団体
マーケットボランティア《しづく》

【連携先】Awajishima Sodatete Market



取り組んだ課題

マーケットボランティア《しづく》が阪急うめだ本店で、たまねぎランタンのワークショップを企画し開催しました。このイベントは、洲本市との域学連携プログラムから始まり、Awajishima Sodatete Market のマーケティング提案を行い、継続的に活性化に取り組んでいます。

活動結果・成果

学生は、プロジェクトをキッカケにサークルを設立。イブニングマーケットなどのマーケット運営をサポートしました。また、研修を通じて真剣にたまねぎランタンの制作を学びました。ワークショップは自分たちに委託するかたちで実施したことにより、責任を持って取り組みました。

社会共創サークル

Ryuka Innovation Team

商品開発やプロモーションなどのプロジェクトを通じて、地域と連携し、新たな価値を創造するサークル。授業で学んだマーケティングのノウハウを活用して地元企業とコラボしたプロジェクトを中心に行ってています。過去には、神戸市西区の野菜を使用しドライフルーツの技術を応用した「野菜チップス」の開発や、西神中央にオープンした「なでしこ芸術文化センター」のプロモーション動画制作などに取り組んできました。



課題解決プログラム

I-1グランプリ(神戸学生イノベーターズ・グランプリ)

本学が2009年から行っている『課題解決プログラム』。社会に新しい価値をもたらす変革(イノベーション)を興す知恵を備えた人材育成を目的として、企業が直面している課題を学生らしい視点やマーケティング手法を活用して解決・提案する企画です。

I-1グランプリ実施までの流れ

- | | | |
|-------|--------------|---|
| 7月中旬 | 説明会参加 | 大学でスケジュール等の説明があります。 |
| ▼ | | |
| 10月上旬 | 応募＆開会式 | 企業のご担当者様から、企業・業界の概要、今回のテーマ設定の背景等をご説明いただきます。 |
| ▼ | | |
| 10月下旬 | フィールドワーク | 課題解決の案に繋がるよう、実際に企業へ見学に伺います。 |
| ▼ | | |
| 11月末 | 中間プレゼンテーション会 | 提案内容について中間発表を行います。 |
| ▼ | | |
| 12月下旬 | 最終プレゼンテーション会 | 今まで考えてきた解決案を企業に向けて発表。入賞したチームには賞状や賞品が贈呈されます。 |

大関との新商品開発

指導教員
清水 信年 教授

【連携先】旭食品株式会社／大関株式会社



取り組んだ課題

食品卸の旭食品、清酒メーカー大関との共同プロジェクトとしてスタート。若年層、女性をターゲットにし、地産地消に焦点を当てた新商品の開発に着手しました。同社のロングセラー商品『ワンカップ』工場見学を通じて、製造プロセスを学び、清酒への理解を深めたうえで開発に臨みました。

活動結果・成果

完成した『Keuna hana～稀有な花～』は数量限定(1000本)で販売。淡いパステルのグラデーションをベースに、兵庫県の県花である“のじぎく”をあしらったパッケージです。売上的一部分は、『ふるさとひょうご寄附金 子ども食堂・支援団体応援プロジェクト』に寄付しました。

「ASICS TUNEGRID」の新たな活用方法を考える

【連携先】アシックス商事株式会社



取り組んだ課題

アシックス商事のご協力を得て、16チームが「スポーツデータ分析システム『ASICS TUNEGRID』の新たな活用方法を考えよう」と題し、シューズ市場における新たな価値創出に取り組みました。開会式にて企業の方から『ASICS TUNEGRID』について説明いただき、アイデア検討のアドバイスが送されました。その後、各チームで収集・調査を実施。学生たちの新たな視点と日頃の学びを活かした提案を目標に、検討を重ねました。

活動結果・成果

『アシックススポーツミュージアム』にて、実際に『ASICS TUNEGRID』の機能を体験し、より深く理解することができました。中間発表では現状分析、データ収集、コンセプトからターゲット層などをまとめ、それぞれ個性あふれる提案を発表。最終発表会ではより具体的かつ実現性の高い提案を考えてきました。学生は試行錯誤を重ねながら、かけがえのない学びを得ると同時に、今後につながる貴重な経験になりました。

連携をご希望の企業様へ

大学ホームページの
社会共創活動依頼フォームより
お申し込みください



【ホームページのご利用手順】

- 01 流通科学大学HP
- 02 「社会連携」のタブ
- 03 「社会と共に創る『社会共創活動』」
「流科大との社会共創活動をご希望の方はこちら」
- 必要事項を入力し送信

社会共創についての連絡先 キャリア支援部 キャリア支援課 TEL.078-794-3550(直)

“なりたい自分”を見つける。

R 流通科学大学

- 商学部 | マーケティング学科／経営学科
- 経済学部 | 経済学科／経済情報学科
- 人間社会学部 | 心理社会学科／観光学科／人間健康学科
- 大学院 | 流通科学研究科

〒651-2188 神戸市西区学園西町3丁目1番



なりたい自分発見